

◇ ◇ 受賞候補者募集等 ◇ ◇

——平成 26 年度（第 38 回）丹羽保次郎記念論文賞——

対象となる論文：情報工学，電気工学の関連分野を含む，広い意味の電子通信工学関係論文のうち，次に該当する若手研究者の論文を対象とする。

- (1) 掲載期間 平成 24 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日
- (2) 著 者 応募者の単著，または共著の場合には本人の寄与が大部分のもの。
- (3) 次のような学会誌に掲載された 1 論文を対象とします。

電子情報通信学会，電気学会，映像情報メディア学会，日本音響学会，情報処理学会，応用物理学会，日本物理学会，IEEE 等国内外の学会の学会誌及び論文誌等

申請者の資格

- (1) 大学院学生（修士課程及び博士課程）
- (2) 大学院修了または満期退学後 2 年（応募時において）以内の者

推薦：推薦者は大学院研究科委員長あるいはそれに準ずる職の方。

表賞及び件数：本賞と副賞，2 名以内。

締切日：平成 26 年 9 月 12 日（金）必着

問合せ先：東京電機大学 丹羽保次郎記念論文賞事務局

担当 伊藤・河野

TEL [03] 5284-5230, FAX [03] 5284-5246

kenkyu-k@jim.dendai.ac.jp

<http://www.dendai.ac.jp/about/match/research/niwa/>

——第 30 回電気通信普及財団賞——

応募要項 [一般向け]

[テレコム社会科学賞]

テーマ 情報通信についての社会科学的観点からの研究（情報通信と法律・経済・社会・文化等との関係について論じたもの）

応募対象論文 前記テーマについて，日本語で書かれた著書または論文（雑誌，学会誌等に掲載された論文，博士論文または書き下ろしの未発表論文，1 万字以上）。ただし，既発表のものについては，最近 2 年以内に発表されたものに限る。

[テレコムシステム技術賞]

テーマ 情報通信及びそれに関連する情報処理についての工学的，技術的観点からの研究（情報通信の基礎理論の研究，情報通信システムの研究・開発，情報通信システムの応用，標準化等。ただし，材料・素子に関するものを除く）

応募対象論文 前記テーマについて書かれた論文・公開された資料（学会誌，国際会議 [標準化も含む]，雑誌等に発表ないし採録が決定したもの）または著書で，次に示す事項に該当するもの

- ・情報通信の基礎理念の研究：最近 5 年以内に発表されたもの
- ・情報通信システムの研究，開発，応用：最近 5 年以内に発表されたもの
- ・国際標準化活動にかかわるもの：最近 10 年以内に電気通信に関する国際標準として採用された，または標準化の方向付けに貢献したもの

応募資格 論文／著書を執筆した個人またはグループ（自薦，他薦は問わない）。

表彰 テレコム社会科学賞，テレコムシステム技術賞それぞれにつき入賞 5 論文以内を選定し，1 論文につき賞金 50 万円を贈呈。なお，若干の奨励賞（賞金 30 万円）を選定することがある。

応募要項 [学生向け]

[テレコム社会科学学生賞]

テーマは上記〔テレコム社会科学賞〕と同じ

応募対象論文 前記テーマについて、学部及び修士課程において、本人が中心となって行った研究に関する論文（卒業・修士論文、書き下ろしの論文または雑誌掲載論文）。日本語に限る。文字数は資料含み2万字以内（図表、注釈は除く）。

応募資格 学部もしくは修士課程に在学中の方、または、平成26年3月以降に卒業（修了）した方。

〔テレコムシステム技術学生賞〕

テーマは上記〔テレコムシステム技術賞〕と同じ

応募対象論文 前記テーマについて、学部及び修士課程において、本人が中心となって行った研究に関する論文（卒業・修士論文、学会論文誌、国際会議、研究会に発表ないし採録が決定したもの。または書き下ろしの論文）

応募資格 学部もしくは修士課程に在学中の者、または平成25年3月以降に卒業（修了）した者。

表彰 テレコム社会科学学生賞、テレコムシステム技術学生賞それぞれにつき入賞10論文以内を選定し、1論文につき賞金20万円を贈呈。（特に優秀な論文には賞金50万円を贈呈）また、佳作5論文以内を選定し、1論文につき賞金10万円を贈呈。

応募締切 平成26年9月30日（火）

問合せ先 電気通信普及財団賞事務局 TEL〔03〕3663-8024

<http://www.taf.or.jp/award/>